

AI クラウドサービス利用ガイドライン

令和 7 年 9 月 1 日 設定
岐阜県厚生農業協同組合連合会

1. 目的

本ガイドラインは、岐阜県厚生農業協同組合連合会（以下「本会」という。）の役職員が、AI クラウドサービス（Google Gemini、ChatGPT 等）の利用にあたり、業務の効率化および質の向上を図るとともに、個人情報および機密情報の保護を徹底するために定める。

2. 適用対象

本ガイドラインは、以下を対象とする。

- （１）対象者：本会の職員等（職員・嘱託職員・契約職員・派遣職員を含む）
本会に関連する業務を行うすべての者を対象とする。
- （２）対象 AI：業務にて使用する AI
※病院の診療支援において、システム利用等に附随する補助的 AI は対象外とする。

3. 利用における厳禁事項

以下の行為は、セキュリティおよびコンプライアンス上の重大なリスクがあるため、固く禁止する。

- （１）ID とパスワードは、許可なく他者に教えたり、メールやチャットに入力したりしてはならない。
- （２）不適切な目的での利用を禁止する。
 - ① 差別的、誹謗中傷的な内容の文章作成
 - ② 違法行為、不正行為を助長するような情報生成
- （３）氏名、住所、電話番号等、特定の個人を識別可能な情報の入力行為
- （４）各種契約情報、人事情報など外部への情報公開が許可されていない機密情報の入力行為。

※本会が契約する GoogleWorkspace の有料版アカウントで利用する Gemini 等の AI の各機能の場合、（３）（４）については対象外とする。（対象外とする理由：有料版は「データが AI の学習に利用されず、情報が隔離されること」「2 重認証や AI による脅威検知などセキュリティの高さ」「組織的な管理機能」の 3 点により、業務で機密情報を扱う上で不可欠な安全性が確保されているため）

4. 利用における注意事項

以下の行為は注意すること。

- （１）外部公開資料や対外提出物に AI クラウドサービスを利用する場合は、

事前に上長の確認を受けること。

- (2) AI クラウドサービスが生成した内容は、必ず職員が確認・修正を行い、その内容に対する責任を持つこと。
- (3) AI の出力結果は参考情報として扱い、最終的な判断および提出責任は、職員本人およびその上長にあることを常に認識すること。

5. 緊急時対応

- (1) 無料版 AI において、個人を特定できる情報を AI に入力してしまった場合は、内統通達 2「個人情報の漏洩等が発覚した場合の対応について」に基づき対応すること。
- (2) その他、3 項「利用における厳禁事項」に該当する事実が発覚した場合は、総務部総務課に報告すること。

6. ガイドラインの見直し

本ガイドラインは、関連法令・各種規程の改定や社会状況の変化により、必要に応じて改訂を行うものとし、理事長が決定する。

7. AI クラウドサービスの主な活用例

活用例	内容
議事録の自動生成	会議録音やメモから要約文を作成する。
各種文書の作成支援	案内文、報告書、通知文、依頼文などの原案を作成する。
外部広報資料の草案作成	ホームページ掲載文や説明文のたたき台を生成する。
職員研修資料の構成案作成	講義資料の骨子や章立てを構想する。
業務マニュアルや手順書の草案作成	既存業務の流れに沿った文案を出力する。
医療問診内容の整理支援	問診記録の要点を文章化し、診療支援につなげる（AI 問診）。

8. AI クラウドサービス用語解説集

用語	解説
AI クラウドサービス	インターネット経由で利用できる人工知能（AI）機能を提供するサービス。
生成 AI	入力した文章やデータに基づき、新しい文章・画像・要約などを自動的に生成する AI 技術。
Google Gemini	Google が提供する生成 AI で、Google Workspace 上で文書作成やメール補助などに使える。
ChatGPT	OpenAI が提供する対話型の AI で、文章の要約や案内文の生成、相談対応などができる。
個人情報	氏名、住所、電話番号、マイナンバーなど、特定の個人を識別できる情報。
機密情報	公開されていない各種契約情報、人事情報など、外部への漏洩が許されない情報。